

部長あいさつ



八幡平市商工会
女性部 部長
宮野 千栄

あけましておめでとうございます。
日頃より、女性部活動にご理解を賜
りありがとうございます。

ここ数年、活動することが厳しい
年が続きましたが、花いっぱい運動
を開催後、事業の見直しや、研修・
講習会の実施、出来ることをコツコ
ツと積み重ねた年でもありました。

今年度は、事業やイベントを思
いっきりやりたいですね!!ユニコー
アルしたおもてなしプランで、市外
や県外の女性部交流も多く出来たら
いいなと思います。

令和四年は、明るく希望に満ち溢
れた年になりますように…。そして、
一人でも多くの部員の皆様とお会い
できますように。

青森県 南部町商工会女性部

おもてなし 交流事業

令和3年
11月16日

おもてなし交流事業とは

その地で商売をし、生活している女
性部員だからこそ知っている、地域の
隠れた魅力を取り入れた着地型旅行、
体験型観光の「おもてなしプラン」を
作成し、女性部で視察研修や親睦旅行
の際に利用、女性部間、女性部員同士
の交流を推進する事業です。

今回は、青森県南部町商工会女性部
の皆さんをお迎えしてのおもてなし交
流事業となりました。



私よりも、やや先輩の南部町商工会女
性部の皆さんは、「私たちは控え目の
よ」とおっしゃってましたが、とてもパ
ワフルでユーモアがあり、活動的でした。
こんな時こそ、見習いたいです。

南部町商工会女性部の皆さん、楽しい
交流会をありがとうございました。

(吉田 賀子)



南部町商工会女性部
部長 新井山 美智子さん
にいやまみちこ

会となりました。

業への活力と気づきを頂いた研修
をを活かした南部町商工会女性部事

10:00 AM 地熱染色体験



この日は、路面に少々
雪があり、地熱染めが
出来るギリギリの天候。
皆さん、ミニスカートの
染色に挑戦。完成までの
時間で、スカートの巻き
方のレクチャー（角をも
つのがコツ）や作品の見
学、ショッピングを楽し
みました。

12:00 PM 峡雲荘にてランチと部員交流会

八幡平市の食材を使った
ランチと交流会では、お
互いの活動発表や意見
交換を行い、時間を忘れ
るくらいに盛り上がりま
した。



2:30 PM サラダファームで見学・買い物

アルパカのマロンちゃん
がお出迎え



3:00 PM お見送り



焼走り熔岩流を眺める予定で
したが、時間が無くなり断念。

南部町商工会 女性部の皆さんの 感想コメント

八幡平市商工会女性
部は、世代交代が進んで
おり若い世代の新たな視
点での女性部活動が積極
的であり、「コロナ禍をチャ
ンスと捉え前向きに取組む姿勢に
好感が持てました。おもてなしプ
ランは、地域資源を最大限に活か
し、女性目線での笑顔溢れる気遣
いのなか、素晴らしい体験と接客
を経験させて頂きました。その地
域に永年住み続け、事業経営に携
わり、地域の良さも厳しさも知り
尽くした女性だから出来る事業で
あると感銘を受けました。県や地
域を超えた女性部間や部員同士の
交流を図ることで絆も生まれまし
た。コロナ禍を吹き飛ばし、八幡
平の大自然に癒され、心満ちる部
員一同笑顔の絶えないおもてなし
交流でした。今後の南部町の魅力
を活かした南部町商工会女性部事

SDGs 講習会
参加者の声
VOICE

まずは出来る
ことから取組みたい。
その為は何が課題なのか
を考え実行したい。

身近な例も多く取り
入れて下さいわがやあがった。
特に女性や子供の奮闘に
ついての例は皆に強い印象を
与えて下さったのでは
ないかと思う。

話を聞く前は自分に馴染ないこと
だと思ってたところが間違っ
たかと思つた。この地球上で
生きている限り自分を
といて持っているものだった。

具体的な事を響きたがった
と思います。取り組んでいる
けれど気づいていなかった
だろう部分の確認ができれば
さらに進められるのでは
ないかと思ひます。

まだまだ勉強が足り
ないなあと実感しました。
ただ、難しい事ではなく
誰もが実践できるのだ
という事がわかりました。
人が地球で生きて
いくために頑張ら
なければなりませんね。

根本的な地球に生きる人間とし
て、今何年地球のために出来る
のかということも講義を響きなが
ら深く考えさせられた。目標
/課題が大きい今の生活、事
業にさらわれず「地球」や「自
分たちの豊かな生活」にもっと
フォーカスして自分の出来るコ
ト企業として進めていくコトを
追求、即実行したい。



第2回講習会 私たちにもできる SDGs セミナー

SDGs で会社を元気にする

令和3年12月16日(木)
八幡平市商工会館

約二時間の充実した時間となり
ました。

「何故今、SDGs に気を向けな
ければならないのか。」どのよう
に考え、実践していかなければな
らないのか。」等、解りやすく教え
ていただきました。

そしてそれを実行しなければ
私達はいつれ地球に住めなくなる
といううちよつと怖い話も。
また、より深く理解した上で、

子供たちは学校でSDGs を学ぶ
ということなので大人の私たちも遅
れを取らないようもつともつと学び
の機会を作っていかなければなら
ないと思ひました。

だれ一人取り残さない明るい未
来のために考え、実践して行き
たいものです。
(川又 康子)

【講師】

株式会社 赤澤号
赤澤 徳俊 氏
あかざわ のりとし



講師プロフィール

盛岡市内で卸売業や岩手県
男女共同参画センター勤務
を経て、2016 年家業である
株式会社赤澤号を継ぐ。「人の可能
性は無限である」を信条に、
企業や行政に対してワーク
ショップ・対話を中心とし
た人材育成研修・組織能力
開発を行う。また子育てや
地域課題解決として、子育
て支援プロジェクトカタリ
Bar を企画・運営。企業・
行政・教育機関への研修は
年 100 回以上の実績。

事業報告



女性部の SDGs 活動

(公財) ジョイセフ

の母子支援活動として書き
損じはがき190枚、未使用は

がき14枚、岩手社会福祉協議会のいわて車いすフレ
ンズの活動支援として使用済み切手1.3kg を送付。また、
皆様からご提供いただいたバザー用品は、4月22日の女
性部通常総会終了後及び5月3日の不動の滝まつり
で販売しました。売上 57,460円は、事業資金
として活用させていただきます。



SDGs の取り組みとして紹介した
体においしい新食感のソフトクッキー
南小島製菓(釜石市)のMUSUBit-ムスピー



商工会の日・記念事業

花いっぱい運動

令和3年
6月11日(金)
八幡平市
サラダファーム

今年の花いっぱい運動も例年と同
じく「ビア」を植えました。

「水をあげ過ぎると水を欲しがらな
くなりますよ。」とサラダファームの
スタッフの方からのアドバイス。
当社前にもプランターを置かせ

て頂いてますが、その言葉を意識
しながら水やりをしました。暑かっ
た夏の間も盛々と元気一杯に育っ
てくれたベゴニアたち。つつかり
水やりを忘れたときもへっちゃら
で咲いていてくれました。

(宮野 志乃)





国道二八二号線を安代方面へ安比高原も過ぎ、安比川と並走し、まっすぐ走っていると、木造の愛らしい建屋「ふうせつ花」のお店が見えてくる。大豆にこだわった手作りのぎる豆腐や、ゆばを主力商品とし、豆乳や豆乳ドーナツ、おからなど豆腐屋ならではの商品を多数販売している。代々受け継がれてきた味は今も変わらず、ANA国内線のファーストクラスの機内食にも起用され、全国にも名を馳せる豆腐屋である。

「自分の人生に夢中で周りが何も見えないう」と三代目ふうせつ花専務取締役石田逸平さん（三十四）は言う。筆者と同年代の後継者でもある逸平さんが秋田の比内地鶏を飼い始めた。コロナ禍での心境の大きな変化がきっかけと語る。「自分の人生やりたいことやらなきゃ損つすよ」この言葉が印象に残る。経営者として突き抜けた活動をしてい

ふうせつ花 2.0 始まる

きらめきレポート



SDGs の取組み
八幡平市安代地区で、大豆加工製造小売業を営む、ふうせつ花さんの取組みをご紹介します。



株ふうせつ花 専務取締役 石田逸平氏



る彼の言葉の奥には、輝く逸平さんの想いがあった。二〇二二年五月から二〇〇羽の比内地鶏を飼い始めた。毎日、豆腐を作る際に出るおからがおおよそ三〇〇kg。そのおからの大半は新型コロナウイルス拡大の影響で行先を失い、産業廃棄物となっていた。前述にもあるが、きっかけはコロナ禍の生活様式の大きな変化だった。逸平さんは幼少期の頃から動物が好きで、現在は愛猫一

匹、愛犬二匹を自宅で飼っている。SDGsの十七個ある目標のうち、⑦『エネルギーをみんなにそしてクリーンに』『や⑩』『つくる責任つかう責任』という観点では、まさに豆腐屋が養鶏事業を手掛けることは企業活動として近年の時代の先を走っていることとなる。近年、製造業もただモノを作るだけでは周囲は認めてはくれない時代である。鶏が愛らしく、飼

はもちろんだ、地元で採れた餌米も与えている。今後、鶏糞も田畑に散布することも構築でき、地域内で循環する仕組みも出来る。 「商業へ一入で考えれば今の養鶏方法だと収支が合わないのは目に見えているが、自分が常に今の時代の最先端でいたい、鶏を使って地域を変えたい」と熱く語る。

周囲を気を付けて見てみると、使えるけど捨てられているものがとても多いことにも気づいたという。愛娘が二人、ご長女の萌ちゃんも一緒に飼育場所に行き自然の営みを親子で体験していることにも感銘した。逸平さんの野望はまだまだ始まったばかり。筆者もインタビューをしながら心打たれることばかりであった。時代が勢いを増し変化していく中で、世界の中で、ここ八幡平市から次世代リーダー達が地域を想い、未来のために日々奮闘している。

(田村 恵)

株ふうせつ花

■住所 岩手県八幡平市保戸坂 236
■電話 0195-72-8008

不動の滝まつり

令和3年 5月3日(月) 桜松公園



二年ぶりに開催された不動の滝まつりは、生憎の雨模様でしたが沢山の人でにぎわいをみせました。この「コロナ禍」で、山菜そば、カレーそば、ジャンボコンニャク、コーヒー等いろいろいつも通りの販売は無くなり、舞茸ご飯おにぎり、味付ゆで卵、朝採りの山菜(コゴミ、ボンナ)、味噌類(趣味味噌大根等)、お菓子セット(ワッフル、煎餅、クッキー、ゼリー)や女性部のバザーの品物もあり、通常とはひと味違う形で販売しました。初めて参加させていただきましたが、毎年、盛岡からきて山菜を買っていくというお母さん方と出会って心温まる経験をさせていただきました。イベントもたくさんありとても楽しい日となりました。

(村上 真知子)

令和3年度 商工会女性部 研修会

ホテル
メトロポリタン盛岡
ニューイング

第1回県リーダー研修会
令和3年6月14日(月)



れている原田正美氏。

「コロナに負けない！感染予防対策でマスク越しでもお客様に選ばれる！ウィズコロナ時代に選ばれる接客術」と題し、オンライン中継での開催となりました。

『真のお客様満足とは何かを理解し、接客に生かす。目指すは人間にしかできない接客＝真心の接客。接客における「マイナスイメージ」を「プラス」に。コミュニケーションに対する「苦手」を「自信」に変えていく！』
マスク越しでも、笑顔を忘れず真心をもって接する事を心がけたいと思います。
(伊藤 規子)

第2回リーダー研修会
東北・北海道女性部交流研修会
令和3年7月14日(水)

青森県
青森市



七十一名の参加の下、二年ぶりに開催されました。県内四地区の代表がそれぞれ主張発表され、最優秀賞に陸前高田市部長の金野ヨシ子さんが選ばれ東北大会へ。
作り続けた「ねがい桜」、一八、四三八個(犠牲者数は、令和元年「つるし飾り」としてギネス認定されたそうです。
講演は、総裁はじめ各界のVIPの接客を担当するなど幅広く活躍さ

「集う七つの『光』輝き、笑顔あふれる地域の明日をめざして！」をスローガンに、二年ぶりに開催されました。コロナ禍のなか、感染症対策が十分になされての女性

部の再会… 人数も一六〇人ほどで、いつもより少なかったのですが、青森県知事率いる賑やかなおもてなしパフォーマンスも素晴らしい、開催幹事さん方の御努力あつての東北大会だったと思います。

今回、女性部の主張発表大会の最優秀賞は、「テーマ」女性部活動と地域振興・まちづくり「サブテーマ」「愛す利尻山 商品開発で恩返し」で、北海道の利尻町商工会女性部 副部長の平川智春さん！地元産物を使いアイスクリーム作りがキッカケで女性部に入部…ウニを乾燥させることに着目、昆布塩の製造など、独学で特許を取得し、ユーモアを交えて話す姿に魅了されました。まさに、歩く利尻町!!

彼女は、北海道・東北ブロック代表として、二月に大分県で開催される全国大会に挑みます。
商工会女性部も全国的に元気な若手が少しずつ増えてきています。そういうところは、きっと、教えるということ・伝えるということがきちんとなされていて、繋がっているからなのでしょうね。凄く素敵なことだと思います。
次は、若手県で開催されます。今から楽しみですね。(宮野 千栄)

八幡平市

まちの未来を 考える勉強会

ハロウィンインターナショナル
スクール安比を見学

令和3年10月27日(水)

晩秋の安比高原を女性部員二十
六名で訪れた。

女性部の新しい試みでもある地元の未来を考えるをテーマに勉強会が開催された。安比高原に建設されているハロウィンインターナショナルスクール安比の外観を見学し、建設概要を伺い、(株)岩手ホテル&リゾート都市計画事業本部長、羅佳儀(カイイ)さんに安比高原の今後の計画や展望などを伺った。

校六年生から高校三年生までのイギリス式教育カリキュラムで、七年、生徒は安比ハロウ校で過ごす。ハロウ校は海外に分校を展開、安比で十校目。二〇二二年八月末頃開校の予定。総面積約十万平米保有する。

イギリスハロウスクールは四五〇年の歴史を持つ伝統校で、そのインターナショナルスクールの安比校は全寮制、最大受入生徒数九〇〇名程、男女共学。日本でいう小学

想像を容易にする為説明するが、地元のサラファームのガーデンパークの総面積と同じである。科学や音楽、スポーツなど多岐にわたる分野の専門の講堂も建設されている。入学予定の学生はアジアを中心に、シンガポール、マレーシア、台湾、香港、中国などから受け入れる。校内で使用する言語は、英語と中国語の二カ国語。学費は寮生活費も含め年間八五〇万円程。開校時は二〇〇名程の受入予定。また、羅さんは安比を一人住む街にしたいと壮大な夢を



tamari窯 陶芸教室

令和3年9月8日(水)
八幡平市商工会館



tamari窯 代表
高村麻里氏

講師プロフィール

1988年生まれ(平舘)。東北芸術工科大学芸術学部美術科工芸コース陶芸専攻卒業。2010年佐藤大寿・サトウカネ氏に師事。2013年岩手県八幡平市にて「tamari窯」設立

手びねりのコーヒーカップとお皿を作りました。

八幡平市内に工房を構える高村さんから手びねりを教わり

コーヒーカップとお皿を作りました。普段使っているカップの持ち手は、どのくらいが大きさ？長さ？どこに付いている？自問しながら作業をすすめ、焼き上がったらどうなっているの

か少々不安でした。作品が届き土の素朴さと素人っぽさが愛らしく毎日使っています。部員の皆様と楽しく過ごした思い出溢れるカップです。今度は子供たちと体験したいとも思いました。

(鈴木 絵美)



作品ギャラリー



陶芸教室 参加者の声 VOICE

とても楽しい時間を過ごることができました。手が大きいと細かいところが大変でしたが、出来上がるのがとても楽しみです。

自分が作りたいカップを作ることで、二ヶ月後に出来上がり。手作りカップで大好きなコーヒーが飲めることを楽しみにしています。

思っていたよりスムーズに作品ができました。焼いたらぐんぐん感じるのが、とても楽しみです。コーヒーとチーズケーキ、最高の味わいでした。

しばらくぶりに楽しい時間を過ごしました。互作気分で本当に楽しかったです。ありがとうございました。

想像以上に難しく、端らにやる事が一番大変でした。今から完成するのがとても楽しみです。



[まちの未来を考える勉強会] 参加者の声 VOICE

計画の中にブドウ園、ウイスキー蒸留所が出て来た事に少し驚きましたが、実現したらとてもおもしろそうだなと感じました。

羅さんの講話では安比のこれからの未来像がわかりました。知ることでより良いつながりやアイデアが出てくるのだらうと思います。実際にすすんでいる計画を市民として知って、共存していけるように感じました。

今まで安比に学校ができるという噂だけが聞こえてきていて、実態が分からなかったが、羅さんのお話を聞き、学校を見学し、現実にはどのようなものなのか少しわかりました。とてもいい機会だったと思う。

私が知っている安比とは違う世界が広がっていてビックリ。地元で頑張っている人達と共存して発展して行ければ良いと思います。

このような勉強会に参加でき、久々に目を見開いた時間でした。

語った。実現するために、働く場所や住む場所などの構想があり、安比エリアのペンションの方々とも幾度と協議を継続しているとのこと。産業を生み出し、さらなる観光地として世界に発信していきたいと語る。羅さんの私たちへ向ける眼差しがとてもまぶしく、元気をいただいた。十二月には安比ホテルはIHGブランドとしてリブランディングされ、ANAクラウンプラザリゾート安比高原ANAホリデイ・インリゾート安比高原として生まれ変わった。国際化が進む安比高原からますます



豊かな自然に囲まれたハロウ安比校 (施設イメージ)

目が見えない。そして地元に住む私たちとの共生について双方に深く考えていく必要がある。その為このような勉強する場を女性部として設定出来たことがまずは大事である。

(田村 恵)

新入部員紹介

★上野理恵さん★

【髙福組：松尾地区】

長野県出身で、二人の子供がおり今まで主婦業に専念していましたが、下の子が小学校へ入学したのを機に、仕事を始めました。居住地が盛岡のため、知らないことが多く、女性部の活動を通じて八幡平の魅力をもっと知れたらと思います。

★上野絵里さん★

【髙福組：松尾地区】

神奈川県出身で2年前に盛岡へ来ました。会社では総務部で仕事をしております。八幡平のことは、まだ分からない事だらけですが少しずつ勉強できればと思います。

～認知症になっても最期まで安心して暮らせるまちづくりを目指して～をテーマに、このの神経内科・脳神経外科クリニック

県女性部研修会
地域共生について考える

令和3年11月5日(金)
滝沢市ビッグルーフ滝沢

の看護師、長坂由美子さんからの講演でした。
認知症は誰でもなりうる病気です。正しく理解し、早期に発見することが大切だということが分かりました。家族や病院、地域の支えにより、就労は継続でき、集えるコミュニティカフェや買い物ボランティアを利用できることを知りました。このような場が私たちのまちにも増え、そしてみんなが理解できる社会になっていければと考えるいい機会になりました。

(小山田 あゆみ)

新年もどうぞよろしくお願ひ致します。会報の制作を通して、昨年は少しずつ女性部の活動が再開し、また新たな試みも出来たことを嬉しく思います。この先も目に見えないウィルスとの闘いではありますが、生活様式や時代の変化に私たちも対応しなくてはならないと考えます。常に前向きに日頃から感謝を忘れず、穏やかな一年であることを願ひます。

(田村 恵)

編集後記

「片付けが嫌い？」と聞かれれば、「好きです！むしろ大好き!!」と答えます。「断捨離！なんと美しい響きでしょう。ただ：片付けてどこにしまったか忘れてたり捨てたりした後で必要になり反省することも度々。」

そんな私の弱点は「限定品」期間限定「今なら〇〇」に心を奪われてしまうのです。そして徐々に物は増えます。今回の講習で先生が放った一言「今ならマグカップ

を差し上げましょう！そのマグカップ本当にほいですが？使わず棚にしまいませんか？」その通り!!くうの音も出ません。楽しく生活のヒントが沢山あった講習会でした。

(宮野 志乃)



忙しいからこそすぐできる！
整理収納のススメ

令和2年度
第2回
講習会

家庭での整理収納術

令和3年3月12日(金)
いこいの村岩手



style-R代表
金田 玲子氏
かねた れいこ

講師プロフィール

東京都出身。都内の幼稚園で5年半勤務。結婚と同時に北上市に移住。苦手だった片付けの手順とコツをつかむことで快適な環境への転換を実現。2010年整理収納アドバイザー資格を取得。2011年岩手県初の整理収納コンサルティングstyle-Rを立ち上げる。

通常総会

令和3年4月22日(木)
八幡平市商工会館

昨年度は書面決議での開催でしたが、今年度は感染対策を十分に行ったうえで開催し、無事終了しました。
宮野部長からは、withコロナに対応した新たな事業を模索しつつ、次代を担う後継者育成事業やコロナ禍だからこそ部員同士のつながりや絆を深める活動を実施していきたいと挨拶がありました。
議案第四号「任期満了に伴う役員への選任について」では、橋

新任役員



常任委員
川又 康子 さん
田山ドライブイン (安代地区)

本英子さん、石田信子さんが退任、新たに川又康子さん(田山ドライブイン)が常任委員に選任されました。役員定数は十九名から十八名に、任期は二年間となります。